

加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
3 加古川駅周辺地区のまちづくり方針	加古川市に人を集める魅力から考え、近隣市街の人達が羨む、子供から大人まで楽しめる多種多様なまちづくりの計画として検討してもらいたい。	コンセプトを「子どもとともに過ごし、育つまち～ウェルネス都心拠点の形成～」として、多様な世代が集い、いきいきと暮らし続けられるまちをめざして取り組んでまいります。	無
3 加古川駅周辺地区のまちづくり方針	自然のウェルネスについては、とても良いと思う。 こうなってほしい加古川のイメージとして、北欧のような緑や水、花にあふれ、加古川に来ると、時間が少しゆっくり流れるような、ゆとりや余裕のあるまちになってほしい。 また、北欧は、全世代に優しいイメージがあるので、みんなが住んで楽しくなれるまちにしたい。 加古川の駅周辺は、にぎわいはあるが、あまりごちゃごちゃせず、緑もあって開放感のある、駅に降り立つとほっとするような雰囲気になってほしい。	いただきましたご意見につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	無
3 加古川駅周辺地区のまちづくり方針	14ページ「2 まちのウェルネスの実現に向けた基本方針」のうち ・集客施設の整備による滞在人口の増加 ・地区内外から利用者を集める公共・公益機能の整備 において、ぜひ充実した先進的な図書館を設置してもらいたい。 加古川市は「図書館」に対する姿勢がとても消極的だという印象がある。 何としても「図書館」の整備をお願いする。	駅北口エリアの整備方針において「地区内外から利用者を集める公共・公益機能の整備（窓口、図書、交流機能等）」と記載しているとおり、図書機能を含めた施設整備について検討を進めてまいります。 いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	無

加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
3 加古川駅周辺地区のまちづくり方針	<p>加古川図書館を加古川駅周辺活性化の核として駅前に移転する。（参考例は明石市）                      加古川図書館は老朽化が著しく、「移転又は休止の方向で検討する」とされている。同図書館は主として加古川町、尾上町、野口町の利用者が多く、休止となるとこれらの地域の人々の図書館利用が不便になる。                      現加古川図書館の建物はもともと図書館として建設されたものではなく、他市町や本市のほかの図書館よりも狭く、利用者に供する机も少ないうえに、図書を書架に収納しきれず、平積み配架せざるをえない状況にある。図書館にはゆったりと過ごせる空間が必要であり、現在の規模より大きくすることを、図書館を新しくする際には踏まえてもらいたい。</p> <p>参考資料P.27では、公的機能を担う施設が駅から離れていることがみてとれる。図書館を駅に近い立地とすることで、案P14の居場所となる滞在空間の整備が図られるうえ、従来の図書館利用者を駅周辺に呼び込み、人の動線に変化がみられるのではないかと期待される。図書館利用者の動線が商業施設などとリンクすれば、駅前の活性化に資することになる。保健・文化面の活性化も期待できる。ウェルネージには乳幼児健診時に、図書館から職員が出向いてブックスタート事業を行っている。立地が近くなることで、ウェルネージだけではなく、ヤマトヤシキ内にある将棋プラザとの連携事業も起こせる。相互の連携事業を増やすことで図書館の利用者も増えることが想定される。                      図書館を加古川駅に近い位置に移転することで、駅周辺の活性化が図れると思う。                      なお、加古川図書館を単体としてどこに移転させるかということではなく、加古川駅周辺の活性化の手段として広い視野で検討を進めてもらいたい。</p>	<p>駅北口エリアの整備方針において「地区内外から利用者を集める公共・公益機能の整備（窓口、図書、交流機能等）」と記載しているとおり、図書機能を含めた施設整備について検討を進めてまいります。                      いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
3 加古川駅周辺地区のまちづくり方針	<p>加古川駅南口の都市計画道路について、ヤマトヤシキから介護付きマンションへ、そしてニッケパークタウンや加古川中央市民病院までの東西の道路をつなぐことにより、活性化を見込めると思う。周辺は密集地帯でもあり、防災面から見ても改善する余地は十分あると思う。</p>	<p>現在、ご意見にある道路の整備につきましては、市の重要課題として取組を進めているところです。ご意見を踏まえ、引き続き事業を推進してまいります。</p>	無
3 加古川駅周辺地区のまちづくり方針	<p>加古川駅南口の都市計画道路について、ヤマトヤシキから加古川中央市民病院までの東西計画道路を完成することにより、駅周辺の人・モノの流れが活発化し、加古川の人口減少も減るのではないかと期待される。利便性も高まり、安心して快適な魅力ある駅周辺になるはず。                      数百メートルの道を作ることにより、未来はひらける。</p>	<p>現在、ご意見にある道路の整備につきましては、市の重要課題として取組を進めているところです。ご意見を踏まえ、引き続き事業を推進してまいります。</p>	無

加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
3 加古川駅周辺地区のまちづくり方針	<p>自動車の駐車場・・・立体駐車場建設若しくは河川敷を利用。                      自転車の駐輪場・・・JR姫路駅前のように地下に作る。</p>	<p>駐車スペースの確保は重要な課題であると認識しており、ゾーニングに基づく各エリアの整備方針においても「円滑な交通環境の形成に向けた基盤整備」として駐車場の整備を記載しています。                      ご意見の内容につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
3 加古川駅周辺地区のまちづくり方針	<p>居住区について、JR加古川線（日岡・神野・厄神駅）のどこかの駅周辺を明石市のJR大久保駅南口のような都市開発にしてみてもどうか。                      JR加古川線もローカル電車として、加古川市の魅力であると考え。                      神戸・大阪が地下鉄で街を移動するように、加古川市はローカル線で街を移動できる、「街の中にレトロ」の魅力をプラスすることができると考える。                      また、JR加古川線ホームと駅北口商業施設への直接の連結通路は、加古川線を利用する人達が少しでも便利と思っていただくために必要である。この路線付近には「東播磨南北道路」もあるので、居住区増を図るなら良い場所であると思う。</p>	<p>JR加古川線周辺の開発に関するご意見につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。                      また、加古川線のホームと商業施設への連結通路の整備につきましては施設整備時の参考とさせていただきます。</p>	無
4 加古川駅周辺地区のゾーニング	<p>駅周辺に学生でも楽しめるような商業施設を増やしてほしい。                      駐輪場をもう少し増やしてほしい。</p>	<p>商業機能の誘導につきましては、駅南口エリアの整備方針において、また、駐輪場の整備につきましては、各エリアの整備方針において、記載しているところです。ご意見の内容につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	無

加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
4 加古川駅周辺地区のゾーニング	<p>明石市、姫路市の中に位置する我が市は、両市と同じような駅前ではなく、加古川市の独自性を発揮できるユニークで差別的な駅前開発をしなければ、両市と対抗できる駅前にはならないと思う。駅前周辺を、南部地区と北部地区の役割分担を決めて計画を立て、南部地区は、駅前通りから国道2号までは現状の商業地区を維持する。寺家町通りは、営業されている店も多くなく、寺家町通りの再開発は断念する。</p> <p>北部地区の文化事業は、5つのエリアを文化エリアと商業エリアを分けて、事業を展開していく。例えば、1番のエリアはICT関連事業、2番のエリアは芸術関連、3番のエリアは教育関連、4番のエリアは健康、趣味関連事業、5番目は自転車無料駐輪場。</p> <p>課題は、どのようにして企業を誘致するか。市に企業誘致課があれば問題ないが、無い場合はどうするか。</p> <p>ひとつのエリアにできるだけ業種が違う企業を入居することを避けてはどうか。</p>	<p>構想においてゾーニングを行い、各エリアにおける機能分担を図っているところですが、ご意見の内容につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	無
4 加古川駅周辺地区のゾーニング	<p>現在、加古川駅周辺にはマンションが多く、マンションの住人は駅周辺で生活を完結することができる。</p> <p>また、阪神間に通勤・通学する住人は、阪神間で買い物をするため、加古川市への波及効果が無いと感じる。</p> <p>やはり、にぎわいのあるまちづくりは、人の流れを意図的に作る事だと考える。商店街が寂れてしまうのも人の流れがあまり無いため、例えば、丸越神社や常徳寺、加古川図書館周辺にマンション群を作れば、通勤・通学で商店街に人の流れができ、商店街での買い物客も増え、新しいお店も集まり、全体的に街が潤うと思う。</p> <p>しかも、上記近くには、学校や公共機関も多く、加古川河川敷を整備することで、マンションであっても高齢者や子育て世帯にも生活しやすい環境をアピールできる。</p>	<p>ご意見で例示いただいた地区につきましては、構想における周辺市街地エリアに位置しており、現在もマンション立地が可能な用途地域となっています。</p> <p>ご意見の内容につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	無
4 加古川駅周辺地区のゾーニング	<p>静かな夜を残してほしい。（スケートボードで深夜まで遊ばれると睡眠妨害となる。）</p>	<p>まちづくりの基本方針の一つである、多様な世代に選ばれる安全・快適な住環境の実現に向け関係機関との連携を含め取り組んでまいります。</p>	無

加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
4 加古川駅周辺地区のゾーニング	<p>駅北口の周辺については、高層住宅も多いため、道路は広くとって、街路樹を植えておしゃれな通りにすれば良いのではないかと。 また、広場や緑もたくさんあって、ゆっくりできるスポットにすれば良いと思う。 冬は、その広場に屋外アイススケートを簡易的に作ったり、イルミネーションを作ったり人が集まる場所になったらと思う。アイススケートは珍しいので、姫路や明石から人が来ると思う。</p>	<p>施設整備を行う街区ごとのオープンスペースの活用の中で、実現可能な取組について検討してまいります。</p>	無
4 加古川駅周辺地区のゾーニング	<p>加古川小学校の周辺は文教区で、高校もたくさんあるので、若者が通りやすい雰囲気にしてほしい。今は廃れた感じが否めないで、じけまち商店街を明るく、おしゃれな通りにしたり、庶民的で温かい雰囲気のカフェや入りやすいお店があったら良いと思う。 金剛寺浦公園に1歳ぐらいの子どもでも一人で乗れるブランコを設置してほしい。公園もお弁当を持って芝生に座って食べやすい公園だったり、広くて緑が豊富な公園になってほしい。 加古川図書館の後にできる新しい図書館は、高砂図書館のような貸出自動化のある図書館で、子どもの本は1階に置いてほしい。新しい図書館は、今まで通ってきた人のためになるべく今と近く、高校も南側に多いので、加古川駅より南側に図書館を新たに作ってほしい。</p>	<p>それぞれの開発時における機能更新や機能誘導の際の参考とさせていただきます。 また、図書機能につきましては、駅北口エリアの整備方針において「地区内外から利用者を集める公共・公益機能の整備（窓口、図書、交流機能等）」と記載している通り、図書機能を含めた施設整備について検討を進めてまいります。 いただきましたご意見につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	無

加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
4 加古川駅周辺地区のゾーニング	<p>駅南口エリアについて、                      外灯は夕方になると暖色系の温かいイメージの明かりが灯るのが素敵だと思う。                      緑はまだありますが、花はないので、花壇を増やして癒しの空間も作ってほしい。                      駅前に少しおしゃれな時計塔を置いたら、人の待ち合わせ場所にできると思う。                      ベルデモールは、今、車が通行できているが、歩行者と自転車専用の道にしてほしい。車は横切るのみにしても、東西に通る道路がいくつかあるので、ごみ出しや車の通る道も確保できると思う。歩行者専用にしても、アーケードは修繕費や維持費がかかるので、光の入る今のままで良いと思う。                      ベルデモールでは、たばこの煙が至るところからやってくるので、対策をしてほしい。約10弱の灰皿が分煙されずに置かれているが、多すぎると思う。分煙スペースで吸ってもらうようにしてほしいが、せめて灰皿を半分、片側の道だけにするなどして、少しでも対策をしてほしい。昼夜、学生、子どもが多く通るので、子どもたちへの模範として、限られた場所で人目につかずにたばこを吸う姿を見せてほしい。                      灰皿が減ると、たばこを注意するスタッフさんの仕事も減る分、街路樹や花壇などの手入れに手を回せるかと思う。                      じけまち商店街がとてももったいない。近くのニッケパークタウンは、平日、休日も人は多く集まります。じけまち商店街に何か魅力を作って、人の流れがニッケからじけまち商店街、ベルデモール、ヤマトヤシキへと流れて、より活性化すると思う。例えば、加古川は赤レンガが有名なので、それをモチーフにした観光スポットを1つ作り、それにふさわしいレストランやカフェ、お土産店、お菓子屋さん、休憩場所を作って、写真映えもする場所も良いと思う。そうすることで、歴史も感じられて魅力が増すかもしれない。                      他の案では、週1回など、定期的に市場を開催したり、イベントを催すのも良いと思う。                      もし活性化が難しければ、じけまち商店街は車道にして、ベルデモールからニッケパークタウンに行く道を歩行者専用できればよいのではないか。ベルデモールからニッケに向かう人は日中多く、道が狭いのにも車もよく通るので危ない。</p>	<p>駅前広場または歩行者動線の整備、既存商業機能の活性化における検討などにおいて、いただきましたご意見を参考にさせていただきます。また、喫煙に関するご意見につきましては、受動喫煙防止の観点からも、検討が必要な課題であると考えております。</p>	無
4 加古川駅周辺地区のゾーニング	<p>「駅南口エリア」と「鉄道沿線エリア」について、「STEP1の動向を踏まえ、具体的な整備方策を検討」する理由がわからない。                      南北の整備を一体的に進めていくべきではないか。おそらく、「駅北口エリア」を開発する中で、不足機能があれば「駅南口エリア」でカバーしていく計画と史料するが、カピル21の床を買収する資金を再開発ビルに積んだということは、駅南地区の整備をどう進めるかの検討を始めることに他ならない。                      一つずつ片付けていく手法もわからぬではないが、（駅北を）片付けてから（駅南を）考えることと同義ではないはず。</p>	<p>構想において駅周辺の機能分担を行うこととしており、駅南口エリアにつきましても、構想に沿った機能導入を今後検討してまいります。なお、駅周辺には市が所有する資産が少なく、民間活力を誘導する際にも相当の時間を要すると考えますので段階的整備としております。                      なお、ご意見にあります令和2年度当初予算の内容につきましては、カピル21ビルの地権者（区分所有者）の方が相続などにより保有床を手放される場合に、加古川再開発ビルが購入するための資金であり、積極的に床を買い進めようとするものではありません。</p>	無

加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
4 加古川駅周辺地区のゾーニング	<p>「駅南口エリア」のゾーニングのコンセプトとして「商業機能の活性化・回遊性の向上」とあるが、三宮まで約30分、大阪まで約50分の地の利を生かして、「駅前居住」を誘導する施策を展開すべきではないか。</p> <p>そのために、当該地区を第1種又は第2種高層住居専用地区に用途変更すべきである。</p> <p>また、参考資料14ページにおいても（より詳細な分析は必要ではあろうが）、加古川市はオーバーストア状態であることが指摘されており、今更、当該地区の商業機能の活性化・回遊性を図ろうとしても無理があるのではないか。</p> <p>以上のことから、ゾーニングのコンセプトの見直しを提案する。</p>	<p>駅南口エリアにおいては、既存商業の集積と大型商業施設間で増加傾向にある人の流れを生かしつつ、現在推進しております、駅南西地区の防災街区整備事業などの面的整備事業により、円滑で快適な動線整備を行うことで、周辺の活性化・回遊性の向上を図ることとしています。</p> <p>一方で、ご意見にありますように、本市のベッドタウンとしての強みを生かした駅前居住環境の整備について、駅南口エリアもサブエリアとして位置付けていることや、前述の防災街区整備事業等については安全で快適な都市基盤の整備や高度化による住環境の創出を目的としていることから、P16「加古川駅周辺地区のゾーニング」の「駅南口エリア・整備の方向性」において、「安全で快適な居住環境を確保する」の文言を追加します。</p>	有
4 加古川駅周辺地区のゾーニング	<p>駅南口エリア（P16）については、カピル21ビルとサンライズ加古川ビルや加古川駅前立体駐車場間の歩行者動線の利便性を向上させるため、姫路駅北駅前広場等のように歩行者通路に屋根を設置すべきである。また、ヤマトヤシキをはじめカピル21ビルの空きテナントが目立つことから、安易に公共施設の導入を進めるのではなく、フロア毎のゾーニングやコンセプトを明確にし、市の支援を充実させて飲食店等の集積に努めるべきである。7階のレストラン街に子育てプラザや将棋プラザが混在し、このままでは、飲食店が撤退してしまう。子育てプラザや将棋プラザはむしろ31街区に集積すべきである。</p>	<p>駅南口エリアについては、ゾーンごとのまちづくりのステップにおいて、駅北口エリアの開発を踏まえた不足機能の強化を行うこととしており、ご意見の内容につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	無

加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
4 加古川駅周辺地区のゾーニング	<p>鉄道沿線エリアは、加古川中央市民病院にも近く、医療や健康関係の施設を導入するのは良いことだと思う。ただ、それに加えて、福祉や介護のための施設も検討すべきだと考える。</p> <p>現在、多くの高齢者が介護を必要とし、その数は将来さらに増えると予想される。そこで、世話をする人たちの中で困っているのが、介護用品の購入である。</p> <p>現在、介護用品を取り揃える商業施設は少なく、介護施設から買って来てほしいと言われた用品を市内で購入することが難しい状態である。また、これらの用品は急を要することも多いため、通販では不十分である。</p> <p>よって、そのような介護用品を取り揃えるような販売店をこのエリアに作ると一定の需要が見込まれると思う。</p> <p>また、このエリアは敷地面積が広く、しかも市の中心部に位置している。これだけの土地が中心部にあることは大きな財産だといえるので、自然のウェルネスをコンセプトとしているのであれば、花や緑があふれ、リラックスできるような広大な緑地を作り、その中に医療・介護用品・飲食・スーパーなどの様々な施設を点在させるのも面白いのではないかと考える。</p>	<p>鉄道沿線エリアにつきましては、整備の方向性において「目的性の高いサービス機能」としていることに加え、整備方針においても「生活支援機能（医療、健康増進機能等）」としていることから、福祉・介護機能の導入を否定するものではありませんが、<u>ご意見の内容と、駅北側は高齢者福祉施設が南側と比較して少ないという状況を踏まえ、P18「整備方針図」の「鉄道沿線エリア」及び「駅北口近接エリア」における生活支援機能に「介護・福祉機能」の文言を追加します。</u></p>	有
4 加古川駅周辺地区のゾーニング	<p>マイカー通勤者の駐車スペースを確保してほしい。（自動車整理場機能を駅周辺の低未利用地に求めた場合、民間事業者による駐車スペースが満車に近い状態となる。そのため、市役所南側にある「カーパークつつじ」のような立体駐車場を設けてほしい。）</p>	<p>駐車スペースの確保は重要な課題であると認識しており、ゾーニングに基づく各エリアの整備方針においても「円滑な交通環境の形成に向けた基盤整備」として駐車場の整備を記載しています。</p>	無
4 加古川駅周辺地区のゾーニング	<p>加古川駅を利用する体験者として、神姫バスとJRの乗り換えが非常に悪いと感じる。特に、加古川駅北口を発着するバス路線は、便数も少なく、朝夕のラッシュ時においては、30分から1時間に1本の時もある。これでは、JRの利便性を向上させることは難しいと思う。せめて、新快速とバスの乗り換えがスムーズにできるよう、15分から20分に1本はあるようにしてほしい。</p> <p>また、かこバスのようなコミュニティバスを増加させ、上荘町・平荘町・神野町などの郊外にも路線を拡充することが重要だと考えられます。これらの町は、高齢化率が高く、商業施設も少ないので、現時点では施設の充実した加古川駅周辺へのアクセスが不可欠だからです。それぞれの町での施設（商業・文化など）を増やすのか、加古川駅周辺に施設を集中させ、駅と郊外のアクセスを強化するのか考えた方が良いのではないかと考える。ただ、施設の誘致には売り上げの見込みのある駅周辺の方が誘致しやすいと考える。</p>	<p>バスの利便性向上につきましては、重要な課題であると認識しており、令和2年度にはかこバスルートの見直しや、上限運賃制度の導入、八幡町周辺でのデマンドタクシーの実証実験など、利便性の向上と交通手段の確保に向けた取組を実施する予定です。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	無



加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
5 駅北口エリアの事業方針	<p>駅前に、市民がもっと便利に利用できる図書館の開設を！                      現状の問題点                      &lt;高齢者にとって&gt;                      海洋文化センターの図書館、ウェルネスパークの図書館、ともにアクセスが悪くて非常に不便である。海洋文化センター図書館行のバスは加古川駅から1日6便、朝や夕方はなく、ウェルネスパークの図書館はもっと不便で、帰りのバスは5時まででない。冬場は暗くなってしまう。車に乗れない人にとって、図書館はもっと頻繁に利用したいけれど、電車やバスでは大変行きにくい図書館であることは事実。                      これから高齢化社会はますます進む。運転免許を返納する高齢者は増える一方である。時間に余裕のある高齢者にとって、図書館は最高の学習の場であり、1人でも豊かな時間を過ごせる場である。                      &lt;買い物客にとって&gt;                      加古川駅前にはスーパーやデパート、商店街、近くにはニッケパークタウンも病院もある。昼間、買い物やお出かけついでに図書館をのぞいたり、読みたい本を借りることができれば、図書館の利用率はずっと高くなり、まちの魅力も、活力も増す。                      &lt;通勤者にとって&gt;                      電車で通勤している忙しい人達にとって、わざわざ図書館に出向く時間的ゆとりはあまりないだろう。仕事の行き帰りに駅そばの図書館で本を借りることができれば、電車の中で読むこともできる。図書館をコミュニケーションスペースとして、働き盛りの社会人に向けた本の情報のみならず、市民活動の発信や呼びかけなどを行い、市政への関心を喚起することもできる。                      以上のようなことを考えれば、現状の市立図書館の問題点は明らかで、市民にとって便利で魅力的な図書館をぜひ駅そばに開設してもらいたい。</p>	<p>駅北口エリアの整備方針において「地区内外から利用者を集める公共・公益機能の整備（窓口、図書、公衆機能等）」と記載しているとおり、図書機能を含めた施設整備について検討を進めてまいります。                      いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	無

加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
5 駅北口エリアの事業方針	<p>居住を増やす前に、商業・娯楽・オフィス施設のある区画計画から考えるべきだと思う。</p> <p>新快速の停車する街で、駅周辺が「居住の多い街」と「商業・娯楽・オフィス施設が整い、駅徒歩10分以内に居住のある街」どちらに住みたいかの2択で考えた。</p> <p>人口減少を抑えたい事も分かるが、先に居住区を増やしても、ベッドタウンのイメージしか残らず、数年後に、また人口流出問題の話をしていると思う。</p> <p>JR加古川駅は、新快速が停車するという利点がありながらも、下車しても施設が乏しく残念である。自動車で移動しなければ映画館等大型施設に行くことができない事が、不便な街だと感じる。</p> <p>そこで、駅北口を近隣市街（明石・三木・小野・加西・高砂・姫路市）には無い、商業・娯楽・オフィス施設を備えた駅北口とし、近隣市から加古川市に来てもらえる都市開発を目指していただきたい。理想は、大阪府の「吹田市・エキスポシティ」と「天王寺公園」をあわせ、加古川市の魅力の一つである「加古川」を利用した、JR加古川線ホームから河川敷まで続く長い連結通路のある施設である。</p> <p>そうすることで、いろいろな人が、川などの自然にも親しみ、イベント等が行いやすい環境のある「リバーサイド都市」になると思う。</p> <p>道路交通面でも、加古川バイパスの出入口とJR加古川駅が近く、人を集客しやすい立地を利用しなければ、宝の持ち腐れになると感じる。</p>	<p>本市の強みである阪神間からの鉄道利便性によるベッドタウンとしての特性を生かし、駅北口エリアへの居住機能の誘導による駅周辺人口及び駅利用者の増加を図ることで、駅南口エリアの商業機能の活性化等をめざすこととしています。</p> <p>また、加古川及び河川敷につきましては、本市の大きな魅力の一つとして有効活用を図ってまいります。</p>	無
5 駅北口エリアの事業方針	<p>現在、駅北口ロータリーでバス・自家用車・タクシーの混在が起り、クラクションやトラブルなどが続出している現状がある。朝や夕方の通勤・通学ラッシュにおいては、その状況は顕著である。これは、実際、通学などで自分自身が利用して頻繁に感じていたことである。</p> <p>また、注意書きの立て看板も設置されているが、その効果はあまり発揮されていない。</p> <p>これは、ロータリーが小さいことによって停車可能な台数がパンクしかけていることが理由になると考える。</p> <p>よって、自家用車とバス・タクシーを交差・混在させない、より安全なロータリーの整備が課題であると考えられる。しかし、今回のまちづくり構想案にはこの現状・課題が反映されていない。</p> <p>したがって、改善案としては、ロータリー東側の民間駐車場やロータリー北側の公営駐車場の土地を利用し、ロータリーを拡大させ、加古川駅南口と同じように、バス・タクシー・自家用車の駐車場所を分けることがよいのではないかと考える。ただし、これでは高度利用を推進する上での阻害にもなりかねない。</p> <p>そこで、現ロータリーの東側・北側にビルを建設し、そのビルの1階部分をロータリーとして使用できるようにする案も良いのではないかと考える。</p>	<p>ロータリー整備に関する課題については、ご意見を参考に、駐車場整備に加え、周辺施設の整備において検討してまいります。</p>	無

加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
5 駅北口エリアの事業方針	<p>現状として、加古川駅北口エリアは、マンションと駐車場の土地利用が非常に多い状態となっている。</p> <p>このことから、課題としては、本構想で指摘されていたように賑わいの創出が不可欠となる。</p> <p>しかしながら、駐車スペースの確保も重要な課題である。</p> <p>このことを踏まえ、現在駅北ロータリー東側の民間駐車場をもう少し駅から離れた場所に移動させ、立体駐車場とすることで、高度利用を図り、より少ない土地で駐車能力を向上させることが改善案のひとつではないかと考える。</p> <p>また、こうすることで駅から駐車場に向かう際に、途中の商業施設で買い物をし商業活動の活発化も見込まれる。</p>	<p>駐車スペースの確保は重要な課題であると認識しており、ゾーニングに基づく各エリアの整備方針においても「円滑な交通環境の形成に向けた基盤整備」として駐車場の整備を記載しています。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
6 候補地1（31街区）の事業方針	<p>駅北に開発するビルについては、図書館の機能移転を検討してもらいたい。</p> <p>また、公共施設とせず、民間主体の経営において、市が公共施設部分を賃貸借する方向で検討してもらいたい。</p>	<p>駅北口エリアの整備方針において「地区内外から利用者を集める公共・公益機能の整備（窓口、図書、交流機能等）」と記載している通り、図書機能を含めた施設整備について検討を進めてまいります。また、運営においても民間活力の導入を含めた検討を行ってまいります。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
6 候補地1（31街区）の事業方針	<p>31街区の自動車整理場のさらなる有効活用を早期に実現してほしいと思っている。</p> <p>要望事項として</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 駐車スペースの確保 特に大型観光バス、路線バスの駐車場 また送迎用自家用車の駐車場</li> <li>2. 駅北に保育所及び子育てプラザ</li> <li>3. 図書館</li> <li>4. 地元町内会の集会室</li> </ol>	<p>1の駐車スペースにつきましては各エリアにおいて、2・3の子育て支援機能と図書機能につきましては駅北口及び駅南口エリアにおいて、誘導することが望ましい機能として整理しております。4の集会室につきましては、地元町内会の専用スペースとしてではなく、多くの方にご利用いただける交流機能として検討してまいります。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	無

加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
6 候補地1 (31街区)の 事業方針	<p>31街区の事業方針（P28）について、市の財政運営を勘案し、市による建物整備ではなく、民間開発に委ねることを基本とし、姫路駅周辺整備事業のように民間のノウハウや資金力を活用するため、導入機能等を明確にした上で条件を付けて土地を売却するべきである。民間事業者の意向調査の結果にもよるが、31街区は残された貴重な市有地であることから、安易に特定の利用者に限られる居住機能を導入するのではなく、駅等を利用する多くの市民や通学者のために図書館等の公共施設を導入し、民間施設との複合施設にするべきである。その場合は、公共施設の計画を明確に示した上で民間事業者から施設計画の提案を求めることになる。駅前の立地を生かして商業施設を導入する場合もカピル21ビルのヤマトヤシキとの競合を避け、道の駅のような地元の特産品や土産物の販売等、今までの加古川の駅前、駅北口エリアにない特色のある機能の導入を図るべきである。31街区の開発を契機として、駅北に残る未利用地への駅前居住の促進が期待されるため、民間の参入意欲を高めることは理解できるが、積極的に31街区に居住機能を導入する必要はないと思う。また、前提条件として、加古川駅北地区地区計画（参考資料P31）は、地区計画を変更して、商業施設A地区、31街区の適切な建築用途として、カラオケボックス等、麻雀屋、パチンコ屋、射的場、馬券・車券発売所等、キャバレー、バー等の施設や工場・倉庫等を制限すべきである。</p> <p>加古川市地域公共交通プラン（平成29年3月）（P8）のP58では、「加古川駅北広場は、停車空間の不足から、朝夕の通勤、通学時間帯には一般車がロータリー内に溜まり、バスやタクシー等公共交通の円滑な運行に影響を及ぼしている。また、高速バスや観光バス、企業の通勤バスも多数乗り入れていることから、公共交通と一般車を分離し、公共交通ターミナル機能を有した施設整備について検討する。」としている。現在の自動車整理場は、駅北広場の補完施設として、駅利用者にとっては利便性が高く、観光バスの乗り場としても利用されているため、今後も必要な施設である。31街区に自動車整理場の機能を維持しながら建物と一体整備を行うためには、姫路駅北西交通広場の事例（加古川市地域公共交通プラン（平成29年3月）のP58に掲載）を参考にしながら、交通広場としての立体都市計画制度の活用や立体道路制度の活用も考えられるが、建物の1階を自動車整理場（交通広場）として利用することになれば、商業施設であれば大きな喪失となるため、自動車整理場の必要性については、自動車整理場の近隣への移転と比較しながら慎重に検討するべきである。</p>	<p>31街区の事業化にあたっては、市の財政負担を考慮しつつ、民間活力の導入についても検討を進めてまいります。</p> <p>また、構想の目的やゾーンごとのまちづくりのステップにおいて記載するように、駅北口エリアの早期事業化による開発ポテンシャルの向上をめざすためには、駅前居住人口の増加による周辺の賑わい創出を図ることが重要であると考えています。そのため、31街区に誘導する機能としては、居住機能のほかに、滞在空間や商業機能、生活支援機能（子育て支援や医療・健康増進機能等）を位置付けているところです。</p> <p>機能誘導にあたっては、市が保有する土地に立地させる施設として、本構想を踏まえた整備を進めてまいります。</p> <p>また、多くの方にご利用いただける公共・公益機能については、重要な要素として位置付けておりますが、31街区は大規模な施設を導入するには敷地規模が不足することが懸念されるため、周辺土地の有効活用の中で土地所有者の意向を確認しながら検討してまいります。</p> <p>一時停車場を含めた駐車スペースの確保につきましても重要な課題であると認識しており、ゾーニングに基づく各エリアの整備方針において「円滑な交通環境の形成に向けた基盤整備」として駐車場の整備を記載しています。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	無

加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
6 候補地1 (31街区) の事業方針	<p>今後20年から30年は、人口減少と人口構造の高齢化が進展することが明確な中で、将来に多大な負担となる可能性が高い、低層階に複合施設、高層階に居住機能を持つ高層建造物を計画されたことに驚きを感じた。</p> <p>建造物は必ず老朽化する。その時には、社会・人口規模が縮小しており、今以上に居住者と施設所有者等との利害が一致せず、再開発に相当の資力・労力が必要となっているのではないかと感じた。若者世代に付けを回すことになる可能性が高い事業であると感じた。</p> <p>駅周辺居住によるコンパクトシティを目指すのであれば、駅周辺だけでなく、郊外の集約、郊外の開発の抑制、また、ロードサイドの開発等も含めて検討する必要があると思う。</p> <p>この事業が実施され、近隣の低未利用地も開発が行われた場合、現在駅前地区で発生している、消費のパイの奪い合いとなり、事業者の疲弊につながるものが想定される。</p> <p>また、新聞に掲載されていた、学習スペース、学習塾、コンビニでは、小中高校生がメイン利用者となり、駅前等との回遊性は発生し辛いのではないかと感じた。</p> <p>今回の計画による、回遊性や近隣低未利用地の開発によるハード投資以外の経済的根拠を示した説明が必要だと思う。</p> <p>このたびの計画では、若者世代に魅力のある街になり、他地域からの転入や、市内の若い世代が集い循環するようになり、人口減少に影響を与えないとは考えにくく、現在の駅前商業の状況を勘案すれば、とても回遊性のある魅力あふれるものになるとは考えられない。</p> <p>賑わいとは、商業施設や生活関連施設等の箱モノ施設を建築することだけで生まれるものではなく、行きたいと思う動機を仕掛け、繰り返し来て頂くことを目指した取組が継続されることで、今まで来ていなかった方々や層に新たに来て頂くことの動機づけが持続されることが求められていると思う。</p> <p>今回の事業方針は、設置者や建設事業者等が必要と考える施設であり、不特定の利用者、消費者、他地域からの来訪者が求めているような施設とは言えないのではないかと疑問に感じ、将来に渡り持続した回遊性をもたらすものとは考えにくいと思う。</p> <p>人が集まる賑わいの仕組みとして、加古川市が周辺の土地も取得し、大規模なイベントが開催できる広々とした芝生公園として整備を行い、子どもから高齢者までが集い、時間を過ごせるようなものとし、管理はイベント会社等へ指定管理で任せ、毎週末には中高生、子育て世代、主婦やサラリーマン向けのイベントが行われ、平日は高齢者や主婦層等に向けたイベントが行われているような公園の方が、将来負担するコストも低減でき、近隣への投資効果と回遊性が高まるのではないかと感じた。芝生を植え、トイレを建て、椅子を置くだけでできるものと思う。</p>	<p>構想におけるステップ1として、早期事業化が可能な31街区を活用し、駅北口エリアの人口及び駅利用者の増加を図りつつ、周辺低未利用地と連携し、地区内外から利用者を集めることができる公共・公益機能や滞在空間の整備を進めることとしております。</p> <p>これらの事業化にあたっては、市の将来的な財政負担も考慮し、官民の役割分担を踏まえた整備を進めてまいります。その中で、整備や運営においても民間活力を生かした様々な事業者からの提案を求め、検討してまいります。なお、商業機能の活性化については、既存の商業機能の集積を生かした機能分担を図ることとしており、特に駅北口エリアの31街区においては「駅前居住を支える商業機能」としているところです。</p> <p>また、駅周辺の回遊性の向上につきましては、北口エリアから南口エリアにかけての開発誘導や歩行者動線の整備、駅前広場の整備等を総合的に検討する必要があることから、駅南口エリアの整備方針の中で整理しているところです。ご意見の芝生公園のような機能については、今後、駅前広場再整備の検討における参考とさせていただきます。</p> <p>なお、中高生をターゲットとした取組につきましては、コンセプトを「子どもとともに過ごし、育つまち」と設定しておりますように、本市が有するベッタウンとしての強みや、加古川駅周辺の高等学校の集積を生かしたものです。本市の子どもたちにとっても、他市から通学する子どもたちにとっても、学校の周辺で活動・滞在する場所を整備することで、一層本市を身近に感じ、親しみを持ってもらえることや、保護者の方にとっても、学習環境が整った場所であるという印象を持っていたのではないかと考えております。</p>	無
6 候補地1 (31街区) の事業方針	<p>候補地1 (31 街区) を高度利用することは良いことだが、高層部を居住スペースとして使うことは、駅目の前の一等地としてはふさわしくないとと思われる。なぜなら、駅前というのは、住むというよりも働く・買う・楽しむなどの他の役割の方が多くあるからである。</p> <p>さらに、候補地1 は駅から最も近い場所であり、このような重要な場所を、ある特定の人の占有空間とすることはもったいないのではないかと考えられる。</p> <p>よって、候補地1 は、住居のような私有空間よりは、商業・文化・教育・福祉などの不特定の人が利用できる公共空間とすることが望ましいと考える。</p> <p>改善案としては、高層部を住居用途とせず、子育て支援施設や学習スペース等の滞在施設とし、低層部にスーパー・ドラッグストアなどの商業施設を導入するといった案が考えられる。</p>	<p>構想の目的やゾーンごとのまちづくりのステップにおいて記載するように、駅北口エリアの早期事業化による開発ポテンシャルの向上をめざすためには、駅前居住人口の増加による周辺の賑わい創出を図ることが重要であると考えています。</p> <p>31街区の低層部に誘導する機能としては、滞在空間や商業機能、生活支援機能（子育て支援や医療・健康増進機能等）を位置付けているところです。</p> <p>一方で、31街区は大規模な施設を導入するには敷地規模が不足することが懸念されるため、周辺土地の有効活用の中で土地所有者の意向を確認しながら、公共・公益機能の整備について検討してまいります。</p>	無

加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
6 候補地1 (31街区) の事業方針	<p>加古川は今現在人口の減少化が目立つ。医療も中央市民病院や、県立病院等があり、保育園についても、待機児童が減ってきている状況なので、問題ないと思う。</p> <p>新快速も停まり、医療等も充実しており、住みやすいのは住みやすいまちだと思うが、ショッピングが充実していないと思う。近隣の明石市や、姫路市では駅付近の再構築化を図り、若者等の姿をよく見かける。私自身も、買い物に行く時は、姫路市や明石市、神戸市に行ってしまう。若者向けの買い物ができる施設が整っていないと思う。他都市の人でも、加古川市に来たいと思うような、買い物ができる街にすることがいいのではないかと思う。コンビニやスーパーができて、加古川駅構内にもスーパーやコンビニがありますので、他の違うものがよいと思う。</p> <p>後は、例えば、キザニアのような施設があれば盛り上がるのではないかと思う。キザニアは厳しいかと思うので、1階は衣料品店等にし、2階に子どもが遊べるような場所、3階に全世代共通の憩いの場所（集客力の高いカフェ等）が想定される。</p> <p>若者を加古川市に転入させることが大事である思う。</p>	<p>駅北口エリアにおける駅前居住を支える商業機能や生活支援機能の誘導にあたっては、駅利用者の増加と滞在性の向上をめざし、民間活力の導入を含めた事業者からの提案を求めていく予定です。</p> <p>また、商業機能の充実については、駅南口エリアにおける既存商業機能の集積を生かした検討を進めてまいります。</p>	無
6 候補地1 (31街区) の事業方針	<p>31街区の事業方針は、手っ取り早く人口を増やす計画にしか思えない。</p> <p>スーパーマーケット・コンビニ等の商業施設は、どのような所を検討しているのか。既存の店舗と差別化が図られるような店舗であれば納得できる。</p> <p>ワークスペース、学習スペース等について、学習施設もベルデモール通りに学習塾が多くあると感じるので、商店街の空きスペース等を利用する事はできないか。</p> <p>医療・健康増進施設・子育て支援施設については、サンライズビルをこれらの専門ビルにできないか。</p>	<p>各エリアのゾーニングにおいて機能整理を図っており、31街区については駅周辺の低未利用地の高度化を促すため、駅利用者や駅周辺人口の増加をめざす機能の誘導を行うこととしています。今後、民間活力の導入を含めた検討において、民間事業者からの提案を求めていく中で、既存機能と差別化を図ることができる特色ある提案について評価するなど、効果的な提案がなされるよう検討してまいります。</p> <p>ワークスペースや医療機能等のご意見につきましては、駅南口エリアを「中高生の放課後の居場所整備」や「子育て中の親の交流場所の充実」「生活支援機能の誘導」のメインエリアまたはサブエリアとして位置付けているところであり、ご意見の内容につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	無

加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
6 候補地1 (31街区) の事業方針	<p>安易に新たな商業施設をつくるのは賛成しかねる。駅北側に商業施設が少ないとのことだが、駅のすぐ北の場所になるので、もうすでにある商業施設との距離が近すぎる。新しく出来たビルにテナントも入っていない状態なので、ヤマトヤシキ、ベルデモール、じけまちの両商店街など、すでにあるものを有効に使っていただきたい。（市の所有でないのと建物の老朽化などの問題等もあるかと思うが。）</p> <p>それであれば、市だからこそできる公共施設の充実化に力を入れてもらいたい。</p> <p>以前、加古川図書館の存続についての問題があったが、駅前に移設するののも一つの案だと思う。学習スペースや子育て支援施設との共存も可能ではないか。駐輪場や駐車場の整備はぜひお願いしたい。</p> <p>今いる居住者が住みやすくなることで、まちは豊かになり、発展すると思う。無理に呼び込もうとするのではなく、今暮らしている人の声を大事にしてほしい。</p>	<p>31街区に誘導する商業施設につきましては、居住を支える用途を想定しており、駅南口に立地する既存商業施設との役割分担を図ることとしています。</p> <p>また、駅北口エリアの整備方針において「地区内外から利用者を集める公共・公益機能の整備（窓口、図書、交流機能等）」と記載しており、図書機能を含めた施設整備について検討を進めてまいります。</p> <p>また、駐車スペースの確保は重要な課題であると認識しており、ゾーニングに基づく各エリアの整備方針においても「円滑な交通環境の形成に向けた基盤整備」として駐車場の整備を記載しています。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
6 候補地1 (31街区) の事業方針	<p>加古川駅北再開発は、加古川駅南口と同じく、介護付きマンションで、1階は商業施設（スーパー）や駅近の利便性を生かした託児所、医療施設（各種クリニック）の開発が、駅北の発展になると思う。</p>	<p>31街区における機能としてご意見の内容を含めた記載としているところです。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
6 候補地1 (31街区) の事業方針	<p>建物の高さをウェルネージと同等に抑えてほしい。（高さ制限の表示）</p>	<p>建物整備を行う際には、関係法令に基づき実施することとなります。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	無

加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
6 候補地1 (31街区) の事業方針	<p>箱ものを建てるのを前提にして</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建物の西側壁面に最大限の目隠しをすること。隣家の屋内が見られないようにすること。プライバシー侵害の防止。</li> <li>2. 建物の壁面緑化を計ること。（反射熱の低下）</li> <li>3. 建物に収容される人数に応じて、駐輪・駐車スペースを確保すること。隣接するウェルネージかこがわやマンションも駐車場所を確保している。31街区もそうすべきである。</li> <li>4. 加古川市の土地に加古川市が開発するのだから、建物上層部も市営住宅として貸し出すべきである。（不動産業者、宅建業者にさせるのは利益誘導になる。）</li> <li>5. 加古川市の先人が加古川市将来の発展のために区画整理事業に際し土地を確保されたものであるから、市民のために開発すべきであると思う。</li> </ol>	<p>建物整備を行う際には、関係法令に基づき実施することとなります。いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
6 候補地1 (31街区) の事業方針	<p>駅前、音楽バンドやダンスパフォーマンス等が手軽に行える、フリーのイベントスペースなどを設けてはどうか。箱モノを作るのではなく、整地のみで、さほど費用をかけずにできるのではないかと考える。</p> <p>無料開催（営利目的ではない）として、不定期でも気軽にそれらを開催することによって、一定の集客効果は期待できるのではないかと考える。電車一本で来ていただけるよう、駅近にあることが望ましい。</p> <p>また、周辺主要都市の駅周辺で行われているような、駅前における冬のイルミネーションイベント等も、ある程度、集客に繋がるのではないかと考える。かつて行われてた「リバーファンタジー」も、当時は、地元民として活気があったように感じており、それらが行われなくなった今、元気がなくなった雰囲気寂しい限りである。</p> <p>費用等問題あるかと思うが、際立った観光地がない加古川だからこそ、常識の域を超えない程度に、センセーショナルなイベントを開催し、一時的でも集客（加古川に足を運んでいただく）ことが課題と考える。</p>	<p>駅前広場の有効活用に関するご意見として、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	無



加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
6 候補地1 (31街区)の 事業方針	<p>雨に濡れずに、光と風が入る「ピロティ構造」を取り入れてほしい。          明石(パピオス明石2階あかし市民広場)は、雨には濡れないが、光と風が入らない。          姫路(姫路駅北口広場)は、光と風は入るが、雨に濡れる。          加古川は、雨に濡れず、太陽光と自然の風を感じられる建物を実現してほしい。          1階をピロティ構造とし、建物南側(加古川駅方向)と東側(148号線方向)の壁は設けない。          南側、東側の空が見え、光と風が感じられる開放的な空間を、駅北口に作ってほしい。          市民が集う空間にするべく、リサイクルを推進する都市として、フリーマーケット定期的に開催し、登録した市民が参加できるようにする。ウェルネージ加古川主催の健康イベントを開く。小さなステージを設けて、演奏会などの催しを行う。市民が自由に弾けるピアノを置く。市の手続きが行える窓口を置く。          現在、時間制駐車場で乗り降りが行われている、ツアー、小グループなど、北口ロータリーを使用できない大型バスのターミナルの役割も担うことができる。          東西南北4面とも、壁で覆われた、どこにでもある高層ビルにしないでほしい。          北のケイピロ(かこがわ(K)ピロティ)と南のカピル(CAPIL)を加古川のランドマークとして認知させてほしい。</p>	<p>31街区の建物整備に関するご意見及びイベント等の実施に関するご意見として、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	無
9 その他	<p>子どもの施設については、加古川市街には、スポーツができる無料施設が少なく感じる。          広場・河川で野球かテニスができることや、駅周辺から離れた所に、有料の体育館・フットサル・野球場・テニスコートがあることしか思い当たらない。近隣(姫路市・加古郡播磨町・明石市・神戸市)には、無料で、スケートボード・バスケットボール等、どれか一つは遊具が揃っている公園があるのに、加古川市には無いので、結局、市外に行くしかない。小・中・高の学校が意外と密集しているのに、このような施設が無いのは残念である。          提案だが、まずは、加古川市役所付近にある「小柳公園」をこのようなスポーツのできる施設にしてみてもどうか。例えばバスケットコート・フットサルコート・スケートボードのコース・テニスコートの施設である。オリンピック種目で「3×3」・「スケートボード」もあり、今後、このような施設は、必要だと思う。無料が難しい場合は、有料でもよいが、市内と市外の差別化を図った料金設定にしてもらいたい。          また、日岡山公園の一部を「山の中にあるアスレチック(フォレストアドベンチャー等)」の施設にしてはどうか。</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	無

加古川駅周辺地区まちづくり構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

該当項目	ご意見等の内容	市の考え方	修正
9 その他	<p>加古川駅北土地区画整理事業（参考資料P17）内の区画8号線と9号線は、都市計画道路加古川駅北線から駅北広場への進入路であるため、交通量が多いにも関わらず、道路構造令第11条の規定に基づき、歩道が設置されていない。現在、駅北広場から発着している神姫バスは、JR高架下のバス待機場から区画8号線と9号線を経由して回送しているが、駅利用者や通学者が多く利用するため、バスが区画8号線と9号線の交差点を左折又は右折する際にはバスの軌跡が大きく、歩行者にとっては非常に危険である。施工中の土地区画整理事業の換地を変更し、歩道を設置することは困難であると思われるので、市から、神姫バスに対して、歩道のある都市計画道路溝之口線を経由して回送するように指導してもらいたい。</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	無